

キャリアラダーレベルIV教育計画

2019 年度

研修名	看護の核となる実践能力	勤労者看護	組織的役割遂行能力	自己教育・研究能力
ねらい (目的)	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践できる	関係者と調整し健康問疾病と労働生活の両立を支援できる	部署・看護部で、特殊または専門的な能力を必要とされる役割、または、指導的役割(学生指導・教育委員・リスクマネジメント委員など)を遂行する	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、ロールモデルとなり主体的に研究に取り組む
目標	1. ケアの受け手や状況(場)を統合してニーズをとらえる 2. 様々な看護技術を選択・応用し看護を実践する 3. ケアの受け手を取り巻く多職種力を調整し連携できる 4. ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	1. 職業との両立に向けて、勤労者の自立を支援できる 2. 勤労者看護の教育・指導ができる	1. 看護部・部署の目標達成のため、他者と協働する	1. 主体的に自己のキャリア開発に取り組む
eラーニング	○社会保障制度の動向 ○地域包括ケア時代に部署の管理者がもつべき視点 ○管理者に求められる倫理的なリーダーシップ ○初学者のための診療・介護報酬制度の理解 ○看護サービスとは何か？その質保証と評価 ○医療と介護を取り巻く環境の変化と平成 30 年度診療報酬改定の概要 ○入退院支援におけるソーシャルワーク			○キャリアデザインとキャリア開発 ○楽しくやろう看護研究①②
オンデマンド	○ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働連携			
集合研修	○倫理事例検討(e-ラーニングの事例) (10 月 29 日)	○勤労者看護		
院外研修	○県看護協会・日本看護協会(ラダーレベルIV相当) 研修 ○学会参加			
提出物	<input type="checkbox"/> ケースレポート(看護理論を活用) <input type="checkbox"/> 倫理事例検討(事例分析して看護計画へ反映した事例) <input type="checkbox"/> 安全・感染に関する改善取り組み事例	<input type="checkbox"/> 勤労者ケースレポート		<input type="checkbox"/> 看護研究計画書作成・提出
役割担当			○チームリーダー・サブリーダー ○学生指導者 ○看護部委員会委員 ○院内委員会委員 ○サポーター	

必須 任意